

長野市監査委員告示第9号

地方自治法第199条第14項及び第252条の38第6項に基づき、長野市長、長野市教育委員会及び長野市選挙管理委員会から措置を講じた旨の通知があったので、同項の規定によりその内容を公表します。

令和6年8月1日

長野市監査委員	下	平	嗣
同	川	上	馨
同	若	林	祥
同	市	川	和彦

措置の通知書

令和5年度 財政援助団体等監査（5監査第121号長野市保科温泉、長野市若穂老人憩の家）分
（長野市長分）

指摘事項及び意見	措置（改善）状況
<p>（指摘事項）</p> <p>1 指定管理に関する基本協定の変更に伴う協議について （報告書6ページ）</p> <p>基本協定書に規定する個人情報の保護義務及び情報公開に関する条項変更やインボイス制度へ対応する追加条項が生じていたが、施行前に指定管理者と協議されていなかった。 基本協定に基づき、適正な事務処理を行われたい。 （観光振興課）</p> <p>2 建物及び敷地の管理範囲について （報告書6～7ページ）</p> <p>指定管理者募集要項の建物の構造に示す延床面積は、公有財産台帳に登録している数値を示すべきところ記載誤りがあった。また、基本協定書において、指定管理者が管理すべき敷地の範囲が示されていなかった。 建物及び敷地の管理範囲を明確に示した上で協定を結ばれたい。 （観光振興課）</p> <p>3 若穂老人憩の家の冷暖房費について （報告書7ページ）</p> <p>冷暖房費は、老人憩の家条例別表で実費を勘案して市長が別に定める額とされている。保科温泉との統合前は市が定めた額を徴収していたが、統合後は料金を定めた根拠がないまま1回につき100円を徴収していた。 条例に基づき、適正金額を定め徴収されたい。 （高齢者活躍支援課）</p>	<p>令和6年3月27日に市及び指定管理者で協議を行い、指摘事項のうち、基本協定書に規定する個人情報の保護義務及び情報公開に関しては、条項に変更があったことを確認し、今後適切に対応していくことを確認した。また、インボイス制度に関しては、指定管理者がインボイス発行に対応可能であることを確認した。 今後は、必要な協議を行い、基本協定に基づき、適正な事務処理を行うことを徹底していく。 （観光振興課）</p> <p>令和6年3月27日に市及び指定管理者で協議を行い、公有財産台帳を基にした施設及び面積に関する資料、指定管理者が管理すべき敷地の範囲を示した図を用いて、その内容を確認した。 今後は、指定管理者募集要項の建物の延床面積等を正確に記載し、建物及び敷地の管理範囲を明確に示した上で協定を結ぶことを徹底していく。 （観光振興課）</p> <p>令和6年度から明確な基準を用いた冷暖房費を定め、徴収している。 （高齢者活躍支援課）</p>

措置の通知書

令和5年度 財政援助団体等監査（5監査第121号長野市保科温泉、長野市若穂老人憩の家）分
（長野市長分）

指摘事項及び意見	措置（改善）状況
<p>（意見）</p> <p>1 料金設定について （報告書7ページ）</p> <p>保科温泉の利用料金は、中学生以上410円、小学生200円で、近隣の日帰り温泉施設と比べて安く設定されている。料金設定は、旧国民宿舎永保荘の当時の料金に消費税率の改定分が一部反映されているものの、これまで大きな見直しは行われていない。</p> <p>昨今の燃料価格等の高騰によりコストが上昇しており、適切な料金設定となるよう検討されたい。</p> <p>（観光振興課）</p> <p>2 施設修繕について （報告書7ページ）</p> <p>ペレットボイラー及びエントランスの空調が故障し運転が停止したが、市の予算措置等の手続きの都合により、修繕が実施されるまでに相当の日時を要した。修繕の遅れによって、温泉を加温する重油コストの上昇、真夏にエアコンが使えないことによる利用者サービスの低下が生じた。</p> <p>このような施設運営上重要な設備が故障した場合、市の所管課は、予算の流用などによる迅速な対応を検討されたい。</p> <p>施設の老朽化が進んでいるが、長野市公共施設個別施設計画（以下、「個別施設計画」という。）において保科温泉の今後の方針を民間譲渡として、大規模修繕が計画されていないことから、利用者へのサービス水準が年々低下していくことになる。大規模修繕に着手するためには、民間譲渡等をいつ実施するかというロードマップが明確になっていることが必要である。</p> <p>施設運営を継続していく限りは、施設の機能を維持していくことが必要であり、個別施設計画の方針と大規模修繕の在り方について検討されたい。</p> <p>（観光振興課）</p>	<p>市で定める「行政サービスの利用者の負担に関する基準」に基づき、施設の運営コストや周辺市町村及び競合する民間の同類施設との競争性の確保、事業を取り巻く社会動向などの環境変化に応じて、施設の利用料金の見直しを検討していく。</p> <p>（観光振興課）</p> <p>施設修繕に関しては、市及び指定管理者による責任分担に基づき、予算の流用などによる迅速な対応を検討していく。</p> <p>当該施設の価値、市場性の有無、競合する民間施設との競争性の確保、事業を取り巻く社会動向などの環境変化を分析する中で、施設の在り方を検討するとともに、個別施設計画の方針と大規模修繕の在り方についても併せて検討していく。</p> <p>（観光振興課）</p>

措置の通知書

令和5年度 財政援助団体等監査（5監査第121号長野市保科温泉、長野市若穂老人憩の家）分
（長野市長分）

指摘事項及び意見	措置（改善）状況
<p>3 隣接市有地の有効利用について （報告書7ページ）</p> <p>隣接市有地の旧マレットゴルフ場の土地は、指定管理者が一部を桜まつりに使用しているが、それ以外の時期は活用されていないため、土地の有効利用を検討されたい。</p> <p style="text-align: right;">（オーエンス） （観光振興課）</p> <p>4 複合施設の運営について （報告書8ページ）</p> <p>保科温泉と若穂老人憩の家は、同じ建物の中に二つの施設が入居する複合施設であるが、いずれも温泉入浴という同じ性格の施設である。両施設の浴室と休憩室は、完全に分けられており、入浴時間は、保科温泉が午後9時までであるのに対し、若穂老人憩の家は午後3時30分までと短く、また、若穂老人憩の家にはシャンプー等の備付けがないなど異なる利用条件となっている。</p> <p>指定管理に関する「業務仕様書」において、基本方針を「利用者が世代を超えて交流のできる、地域に根差した施設となることを目指す」としているが、高齢者、若者、子どもなど多世代が交流する機会が制限されている。利用者によって浴室及び休憩室を分けることは、利用の偏りが生じコストにも無駄が生じる上に、混雑時に利用者を分散させるなど柔軟な運営ができないため、改善が必要である。</p> <p>例えば、両施設の浴室等の分けをなくし、料金を一本化した上で、老人憩の家利用券を提示した市民に対しては経過措置として従前の料金を適用することとすれば、これまで老人憩の家を利用していた高齢者が午後3時30分以降も入浴できるようになり、サービスの向上につながる。複合施設の効率的な運営及び利用者サービスの向上につながるよう条例の改正を検討されたい。</p> <p style="text-align: right;">（オーエンス） （観光振興課） （高齢者活躍支援課）</p> <p>5 温泉施設に係る個別施設計画について （報告書8ページ）</p>	<p>当該施設の価値、市場性の有無、競合する民間施設との競争性の確保、事業を取り巻く社会動向などの環境変化を分析する中で、施設の在り方を検討するとともに、土地の有効利用についても併せて検討していく。</p> <p style="text-align: right;">（オーエンス） （観光振興課）</p> <p>当該施設の価値、市場性の有無、競合する民間施設との競争性の確保、事業を取り巻く社会動向などの環境変化を分析し、複合施設の効率的な運営及び利用者サービスの向上につながるよう施設の在り方を検討していく。</p> <p style="text-align: right;">（オーエンス） （観光振興課） （高齢者活躍支援課）</p>

措置の通知書

令和5年度 財政援助団体等監査（5監査第121号長野市保科温泉、長野市若穂老人憩の家）分
（長野市長分）

指摘事項及び意見	措置（改善）状況
<p>温泉施設は民間で実施可能な施設として、個別施設計画では、原則、民間譲渡の方針となっている。しかし、中山間地域にある温泉施設は、利用料金だけで採算を取るのは困難であり、民間譲渡すれば、いずれ廃止になる可能性が高い。</p> <p>長野市やまざと振興計画では、地域資源を活かして中山間地域の振興を図るという考え方が示され、長野市観光振興計画では、観光の力を活用して中山間地域を守り、維持していくことも観光振興の大きな役割だとし、中山間地域の地域資源を見つけ、磨き、発信していくとしている。</p> <p>このため、サウンディング型市場調査等を活用して、温泉施設ごとに地域資源としての価値や市場性の有無等を評価した上で、中山間地域の振興方針と整合が取れた個別施設計画に見直すことを検討されたい。</p> <p style="text-align: right;">（観光振興課）</p>	<p>各温泉施設の価値、市場性の有無、競合する民間施設との競争性の確保、事業を取り巻く社会動向などの環境変化を分析する中で、今後の各施設の在り方を検討するとともに、個別施設計画の見直しについても併せて検討していく。</p> <p style="text-align: right;">（観光振興課）</p>